

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成23年11月15日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	池田恵一委員、上原和彦委員、大久保幸子委員、大滝祐治委員、金井定男委員 桑田まなみ委員、小林豊明委員、坂口久美子委員、佐藤和雄委員、関貞徳委員 財部浩子委員、田中新平委員、堀内厚子委員、山口市江委員、若林ゆき子委員 【欠席委員】5名
5	市側出席者	笠原センター長、荒井地域振興課長、大塚市民生活課長、若林健康福祉課長 大塚産業観光課長、中山建設課長、佐藤上下水道課長、藤沢教育事務所長 清水庶務係長、滝沢地域政策係長、中村庶務係長、林主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年11月24日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (関副会長)	
2	会長あいさつ (佐藤会長) 11月の半ばだが暖かい陽気が続いている。北海道では雪の便りも聞かれ始めたが、数日前に菅平を訪れた際には地域の方が雪の心配をしていた。地球温暖化の影響がうかがい知れる状況なのかと感じている。11月3日からの真田地域総合文化祭には多数の出展や舞台発表が行われ、大変多くの来場者があった。今後ますます文化事業も進めることができると考えている。初の試みである寄席落語も350人を超える大勢の皆さんが来場し楽しんだ。来年も開催できればと思う大変良い催しであった。本日は、前回説明のあった真田地域の観光戦略プランおよび農業戦略プランについてと、各分科会での協議結果を意見書とするかの協議をしていきたい。	
3	真田地域自治センター長あいさつ (笠原センター長) 10月19日に真田地域公共交通利用促進協議会が設立され、本日の役員会で活動がスタートした。皆さんのお力添えをいただき、路線バス存続を推進したい。また12月議会が11月28日から開催する、その中身は、新生上田市5周年の記念として上田市の花、市花の制定をするため、アンケート調査などの結果を議会に諮る。建設中の上田市産院の名称を上田市立産婦人科病院に改め、来年度から県下でも低水準であると答申のあった料金の改定をする。あわせて、産院と一体となっている子育て支援施設ゆりかごの料金改定も行う。真田地域では真田独居高齢者集合住宅の指定管理指定を恵仁福祉協会アザレアンさなだに行う議案を提出する。予算関係では、約6億1千万円の補正を見込んでいる。交流文化施設の基金として3億1千万円を積み立てるものが大きな内容である。消防団関係においては、東日本大震災により消防団員が290名近く死亡、行方不明となっていることについての保証にあたり、掛金が少ないために保障ができない状況であるため、全国の自治体で掛金を今年度だけ上げて保障したいというものである。傍陽分団の詰所を今年設計し来年建設していく。以上が12月議会に提案する主な内容である。本日の協議会は最後の詰めの協議と思うので、御協力いただきよろしくお願ひしたい。	
4	協議事項 (進行: 佐藤会長) (1) 真田地域の観光戦略プランおよび農業戦略プランについて (会長) 前回の協議会で策定委員会から説明をいただいた。内容について理解いただいたかと思うが、策定委員会では、協議会からの意見を踏まえてより良いプランとしたいとのことであるため、前回の協議会資料を見ていただき御意見等出していただきたい。 【主な質疑・意見等】 (委員) 農業戦略プランについて基本戦略3に有害鳥獣対策が挙げられているが、真田地域での被害額、どんな獣による被害が大きいのかなど教えて欲しい。	

(大塚産業観光課長) 被害の全体額は把握しきれていない。狩猟した頭数は、昨年はクマは7頭であったが、今年には既に6頭狩猟している。イノシシ、カモシカによる食害が多いが、最近ではニホンジカによる被害が顕著である。2、3年前までニホンジカによる被害は見られなかったが、真田地域以外でも被害が目立ってきており、高山植物まで食害を受けている。また、樹皮の食害により樹木が立ち枯れするという被害も出ている。ソバ等の農作物に対しての被害も深刻化している。これに伴い電牧柵の補助申請も増加しており、現在50万円ほどの補助額となっており、3割補助であることから150万円ほどの電牧柵が真田地域内で設置されたことになる。被害額については調査し、今後の協議会で報告したい。

(委員) ニホンジカの被害が多いということだが、新聞報道などにもあったが、7・8年前には全県下で30頭ほどの狩猟数であったが、現在では9,000頭ほどということである。丸子武石の美し山系から佐久の奥秩父山系まで多くの被害が出ている。農業経営者としてサルとニホンジカには非常に危機感を感じている。

(委員) 農業戦略プランでは、ソバに注力していくということだが、温暖化現象が原因だという噂だが、最近では上田地域のリンゴより真田のリンゴのほうが美味しいと聞く。戦略プランであることから、目先の1・2年のことではなく5年10年のスパンで考えると、美味しいリンゴの産地が、上田地域から真田地域に完全に移ってくるのではないかと考えられる。そのような中で果樹関係にも力を入れていくべきではないかと考える。美味しいリンゴを提供していくことを考えると心配されているのは後継者の問題である。過日の災害でも浸水した部分は伐採し、新たに植付けはしないという話も聞くが10年後を考え、果樹関係に力を入れていくべきではないかと考える。戦略プランの中には、果樹園地の継承を円滑にできる仕組みづくりということが出てくるが、重要課題としての取り組みが必要ではないかと思う。

(大塚産業観光課長) 農業の後継者不足については喫緊の課題として認識しており、特に高齢の農家では収穫時期に重労働を強いられる状況で、後継者不足が課題となっている。現在、里親制度を利用し、研修にきている者が数名いるが、農家が今後どのような経営状況になるのか、後継者の有無など詳細なデータを収集し、農業経営に対して意欲のある者と、後継者がいない農家をマッチングさせるような事業に取り組んでいきたいと考えており、具体的な施策として、果樹園地継承円滑化のための高齢者農家の聞き取り調査を実施し、スムーズな継承をしていきたいと考えている。

(会長) 後継者問題となるとリンゴ農家だけでなく、色々な部分で対応しなければならないことかと思う。

ほかにはなにかありますか。農業戦略プランについては御意見いただいたが、観光戦略プランについても意見等出していきたい。

(委員) 観光戦略プランの策定委員の構成を見ると、個人的な意見ばかりになってしまうのではないかと懸念される。行政に任せきりになってしまうのではないか。

(大塚産業観光課長) 地元が誇りを持って踏み出していくことがポイントであると考え。語り部の育成や自治会から地元の名所を出していただき全国に真田三代の郷をアピールしていきたいと考えている。

(笠原センター長) このプランを作ることによって市の職員がこの地域をどのようにしていくかを本気で考えなければ、農業振興、観光振興ができない、そして地域の皆さんを引き込むこと、この一連の流れがなければ振興が進んで行かないのではないかと考える。地域の皆さんに全てをお任せすることでは難しいと考え、これを機会にセンターも、上田市全体の職員も含めて職員の意欲を引き出していくことを考えている。

(会長) 行政と地域の皆さんを取り込むなかで全体を盛り上げていくことを考えるということかと思う。それぞれの御協力をお願いしたい。

ほかには御意見、御質問等ありますか。

【質疑・意見等】

・ なし

(会長) 本日は、それぞれの策定委員会会長の出席がありませんので、出された意見等については

産業観光課を通じて伝達し、策定委員会で検討いただきたい。協議会での検討が必要となった場合や、事業実施にあたり地域予算を活用するようであれば、協議をいただければと思う。

(2) 真田地域の課題・目標の進捗状況について

～資料に基づき、平成23年度真田地域自治センターの課題・目標の進捗状況を

各課長から説明～

(会長) 説明について何か御意見、御質問などありますか。

【主な質疑・意見等】

(委員) 健康福祉課をお願いしたい。健康診断の通知についてはどのような範囲に出しているのか。

(若林健康福祉課長) 対象者全員に出している。

(委員) 市で人間ドックの補助をしているかと思うが、補助をした者にまで健康診断の通知を出しているようである。是正を考えていただきたい。

(若林健康福祉課長) 市全体のことであるので、全体で検討していきたい。

(会長) ほかにありますか。

(委員) 地域協議会の関係で、任期2年のなかで、1年で交代する委員が多かったが、1年間行ってきた議論が、委員の交代により途切れてしまい、また最初から始めるということも見受けられた。1年で交代する委員は協議会全体の何パーセントに留めるなどの制約を設けた方がよいのかなどの議論をどこですべきかなどを考えている。今後この任期2年ということについてどのような方向で、どの立場が考えていくべきなのかお聞きしたい。

(笠原センター長) 上田市では、平成24年から新生上田市の第4ステージをスタートする。第4ステージでは地域協議会のあり方を今後、地方分権のなかでどのような位置づけにしていくのか。全国でも上田市は先進地である。地域協議会のあり方と自治会のあり方、自治センターのあり方、これらについての具体的な方向付けをしていく。センター長の権限や予算についても検討に入る。そのような中で、地域協議会は、上田市の中でも様々あり、旧上田地域には地域協議会の存在が地域の皆さんに理解されていないところもあるなど課題もある。任期についても課題があり、検討している部分もあるが、もう少し経過を観察しなければ地域協議会の方向性が見えない部分もあり、すぐに結論が出ないが、第4ステージのなかで進めていけたらと考えている。

(会長) 行政改革のなかでも出ている話である。協議会の位置づけ、自治会やセンターとの関わり方についても検討して欲しいという意見書を出してある。そのようななかで十分な検討をいただき方向性を出して欲しいと考える。

ほかに何かありますか。

(委員) 上下水道課で、安全、安心な水の供給というなかで、土屋水源の活用があるが、菅平の上水道で井戸を掘ってあるが、どの程度の水が出ているのか、足りているのか、足りなければもっと掘るのかなど教えて欲しい。

(佐藤上下水道課長) 菅平に深井戸を1基掘削してあるが、当初予定した水量が出ていないため、当初計画では3箇所の予定であったが、中断している。現在、土屋水源から菅平へ3,000tを揚水しており、水量の確保はできている。

(会長) ほかに何かありますか。

【質疑・意見等】

- ・ なし

(3) 真田地域協議会意見書の検討について

(会長) 各分科会で協議した内容について協議会の意見書とするかを協議いただきたい。まず、それぞれの分科会長から分科会テーマを意見書とするかどうか、意見書とする場合には原案の説明をお願いします。

(田中第1分科会長) 第1分科会では、2年にわたり「地域づくり委員会」について議論してきた。そのなかで現状を把握し、問題点・課題点を整理し、解決に向けての方策を協議し、9月に

は自治会長の皆さんに「地域づくり委員会の今後のあり方」について中間報告をし、意見交換をさせていただいた。そこでの意見を踏まえ、第1分科会からの提言をまとめる協議を行った。地域らしさを活かした分権型の住民自治の実現がより一層求められているなか、他の地域からも注目されている「地域づくり委員会」を継続し発展させることにより、真田地域まちづくり方針の一つである「創意と工夫の地域づくりの推進」を図るために次の提言をしたいと考え、意見書案として提出します。

～意見書（案）に基づき、内容を説明～

（小林第2副分科会長） 大日方第2分科会長が急遽欠席となったため、事務局から第2分科会の意見書案の説明をお願いしたい。

（滝沢地域政策係長） 第2分科会は、地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備について議論し、9月の自治会長の皆さんとの懇談会で中間報告をした。意見書とするかについても分科会で議論し、真田地域公共交通利用促進協議会が設立されたところではあるが、ひとつの任意団体である利用促進協議会とは違って真田地域協議会付属機関としての第2分科会で議論を重ねたものであるので意見書としてまとめることとした。

～意見書（案）に基づき、内容を説明～

（上原第3分科会長） 第3分科会では、防災について議論してきた。上田市全体では自主防災組織マニュアルが作成され、情報伝達ではメール配信が進められているところである。災害に関しては地域特性がかなりあるということから、真田地域の特性に鑑み進めていく必要があるのではないかと議論を進めてきた。提言とすべきか議論したところであるが、取組んで欲しいのは自治会の動きである。上田市に提言として出し、自治会へ伝達してもらうのか、あるいは、協議会や自治センターから行うのか議論したところであるが、これまでの議論内容を報告し、提言とすべきかどうかも含めて、協議いただきたい。

～意見書（案）に基づき、内容を説明～

（会長） それぞれの分科会から説明があったが、御意見、御質問を出していただきたい。第1分科会について出していただきたい。地域づくり委員会についてであるが、上田市全体においても注目されているということもあり、御意見等出していただきたい。

（委員） 第1分科会の委員として足掛け3年議論してきた、その結果をまとめたものである。よろしくをお願いしたい。

（会長） いろいろな面で係わってくる部分かと思う。ほかには何かありますか。

【質疑・意見等】

・ なし

（会長） 第2分科会について御意見等ありますか。利用促進協議会も立ち上がり、両輪でやっていくということと思う。

【質疑・意見等】

・ なし

（会長） 第3分科会についていかがか。分科会長からの説明にもあったとおり、内容としては実際に実行していただく自治会への提言である。

【質疑・意見等】

・ なし

(会長) それぞれの分科会から提出されたものを、協議会の意見書とするのかについて御意見をいただきたい。第1分科会の意見書案を協議会の意見書としてよろしいか。

(委員) 内容を見ると、地域づくり委員会要綱の作成についてや、予算の確保について触れている、これらについては上田市へ要望する内容であるので、意見書として出すべきと考える。

【質疑・意見等】

- ・ なし

(会長) 第1分科会の意見書案を協議会の意見書として提出するという点でよろしいか。

- ・ 全員了承

【決定事項】

- ・ 第1分科会の意見書案を協議会の意見書として提出する。

(会長) 第2分科会についてはいかがか。公共交通問題ということで、大きく重要な問題である。

(委員) 率直な感想として、利用促進協議会が具体的な取り組みを推進し、交通弱者対策については避けて通れない部分であることから、この時期を逃がせない喫緊の課題であると思うので、是非、意見書として提出して欲しい。

(委員) 賛成。

【質疑・意見等】

- ・ なし

(会長) 第2分科会の意見書案を協議会の意見書として提出するという点でよろしいか。

- ・ 全員了承

【決定事項】

- ・ 第2分科会の意見書案を協議会の意見書として提出する。

(会長) 第3分科会についていかがか。自治会へ向けての内容ということであるが、その辺りについても御意見いただきたい。

(委員) 昨年の8月の災害では、自治会長が非常に苦労をした。自主防災組織が、いかに組織として機能しないかを痛感したようである。このことを取り上げる時期とも思うが、一番困っている自治会長へ提言するような形になっている。これを問題提起として提言するということが、皆が本当に困っており、取り組んでいる行政課題であるが、さらに積極的に関与することを上田市に提言していくことを考えてもよいのではないか。このことを分科会で再度協議いただくことはできないか。

(上原第3分科会長) 分科会でも議論した部分であるが、地域協議会が自治会にお願いできれば良いということもあるが、地域協議会長から自治会への提言で良いのか。真田地域自治センターから自治会長にお願いするのか。様々な意見が出たところである。上田市に真田地域の取り組みを見てもらいたいという気持ちもある。皆さんの御意見をいただきたい。

(会長) こういうことを自治会にお願いしていくにあたり、市の力添えをいただきたいという内容で意見書とすることも考えられると思うがいかがか。再度分科会で協議していただけないかという意見もあったが、そのようにしてよろしいか。

- ・ 全員了承

【決定事項】

- ・ 第3分科会は、報告内容を意見書とするかについて分科会で再度協議し、次回の協議会で報告する。

(4) 分科会協議

(会長) 意見書の内容を各分科会で再確認し、次回の協議会で最終案を報告願いたい。

(5) その他

(会長) 皆さんから何か御意見、御報告ありますか。

【質疑・意見等】

・ なし

(会長) 事務局から何かありますか。

・ なし

5 その他

第8回協議会の開催予定について

(副会長) 平成23年12月14日(水)午後7時から予定しているのでよろしくお願いいたします。

6 閉会

～各分科会に分かれ協議。第1分科会 301会議室、第2分科会 302会議室

第3分科会応接室～

～各分科会毎に閉会～